

湘南海岸公園 整備・管理計画

2024（令和6）年5月
神奈川県藤沢土木事務所

構 成

はじめに	2
第 1 章 湘南海岸公園の概要と特性	3
1－1 湘南海岸公園の概要	
1－2 公園の特性	
1－3 重点的な課題	
第 2 章 公園のめざす姿と重点的な目標	11
2－1 公園のめざす姿	
2－2 今後 10 年間を見据えた重点的な目標	
第 3 章 取組方針	14
3－1 管理運営方針	
3－2 安全・安心な公園への方針	
3－3 エリア別の方針	
3－4 整備の方針	

はじめに

「湘南海岸公園 整備・管理計画」は、「神奈川県立都市公園の整備・管理の基本方針」（以下「基本方針」という。）に基づき、湘南海岸公園の特性に応じた整備や管理運営を実施していくため、公園特性や社会状況を踏まえて、今後 10 年間で特に配慮すべき課題を整理した上で、公園のめざす姿とその実現に向けた重点的な目標、取組方針を定めたものです。

県立都市公園は、公園管理者、指定管理者、民間事業者、関係団体、公園利用者など、多様な主体が整備や管理、運営に関わっていますが、公園に関わる様々な人たちが、公園の特性やめざす姿、取組方針などを共有し、それぞれの主体が効果的・効率的な取組につなげていくために、この計画を活用していきます。

また、目標の達成状況や社会環境の変化などを踏まえ、おおむね 5 年を目安に、必要に応じて計画の見直しを行っていきます。

【参考】神奈川県立都市公園の整備・管理の基本方針

整備と管理の方向性について、5つの視点から 10 の施策の方向性と 24 の施策の展開による体系を示しています。

視点	施策の方向性	施策展開の具体例
Ⅰ 自然環境の保全と活用	(1) 生態系や生物多様性の保全	① 自然環境情報の共有と整備・管理方法への反映
		② 外来生物対策や自然植生復元などの動植物の生息環境づくり
	(2) 地球環境問題等への地域からの対応	③ 環境学習フィールドとしての機能向上
		④ 環境負荷軽減の推進と都市間環境問題へのアプローチ
Ⅱ 災害対応の推進	(3) 緊迫する自然災害への対応	⑤ より具体の発災時想定に基づく連携対応強化による防災力の向上 ⑥ 様々な災害に対応する防災施設の整備
Ⅲ ユニバーサルデザインの推進	(4) 誰もが安全・安心にすごせる公園づくり	⑦ 安全で安心な公園のための施設の整備と管理 ⑧ ユニバーサルデザインの推進 ⑨ 誰もが楽しめる利用・健康増進プログラムや憩いの空間の提供
Ⅳ 地域活性化への貢献	(5) 歴史や文化の継承と創造	⑩ 歴史資源や伝統行事の継承 ⑪ 地域文化を育む舞台となる公園づくり
		⑫ 周辺施設や観光資源とのネットワーク
	(6) 地域と一体となった魅力の向上	⑬ 地域活性化の推進 ⑭ 風景美術館を目指した景観づくり
Ⅴ 効率的で効果的な公園整備とサービス	(7) 質の高いサービスの提供	⑮ 指定管理者制度の効果的運用 ⑯ ニーズ把握を踏まえた施設・サービスの充実 ⑰ 広報、情報発信等の工夫
	(8) 多様な主体との連携	⑱ 連携の多様化 ⑲ 民間活力の利用（Park-PFI等の活用） ⑳ 連携のための仕組みの推進
	(9) 既存公園の再生	㉑ 公園施設長寿命化計画の策定と更新 ㉒ 公園再生の着実な推進
	(10) 都市の魅力を高める都市公園整備の着実な推進	㉓ 都市公園の着実な整備の推進 ㉔ 国と連携した緑の拠点整備

第 1 章 湘南海岸公園の概要と特性

1－1 湘南海岸公園の概要

(1) 所在地：藤沢市片瀬海岸 2 丁目・3 丁目、鵜沼海岸 1 丁目・2 丁目

(2) 都市計画の概要

ア 都市計画決定(藤沢市部分)

	日付	番号	面積
当初	1937(昭和 12)年 12 月 4 日	内務省告示第 759 号	54.45ha
最終	1992(平成 4)年 6 月 2 日	県告示第 534 号	90.5ha

イ 公園種別 広域公園

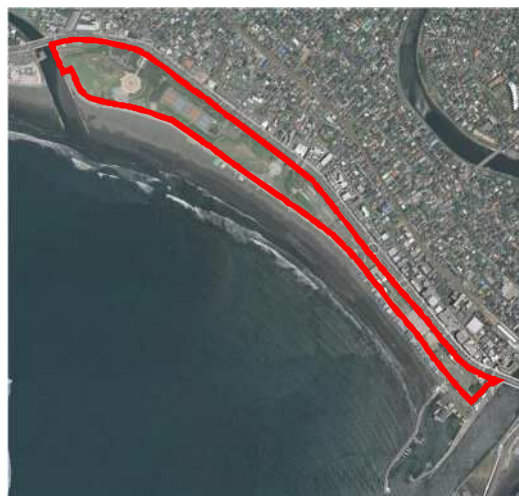
(3) 都市公園の開設の概要

	日付	面積
当初	1957(昭和 32)年 11 月 1 日 (一部開園)	18.1ha
最終	2002(平成 14)年 6 月 8 日	17.4ha

(4) 位置図



(5) 航空写真



※赤線内が概略の公園区域です

国土地理院撮影の空中写真（2019年撮影）をもとに、神奈川県で加工

(6) 公園の主な施設

芝生広場、ちびっこ広場、水の広場、海風のテラス、多目的広場、サーフビレッジ、緑陰広場駐車場、ニエアル碑*、テニスコート*、新江ノ島水族館*、レストラン*等

※ 都市公園法第5条による設置管理許可施設

(7) 利用状況

令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
合計（人）	105,969	183,166	138,819	288,579	454,842	155,323
1,964,143	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	143,822	120,971	83,399	93,125	89,179	106,949

※コロナ禍前の状況

(8) 主なイベント開催状況

イベント名	主催者	時期	参加者数
鵜沼ハワイアンフェスティバル	指定管理者	5月	5,000名
湘南海岸公園まつり	湘南海岸公園友の会	10月	8,000名

※ その他にも地域と連携したイベントを数多く実施。また、公園区域外のイベント（ビーチバレー大会等）にも公園の一部を活用いただくなど協力。

(9) エリアの設定

公園内を機能・目的・自然環境等により、下記のエリアに区分しています。

① サーフビレッジ周辺エリア（西部ゾーン）

サーフビレッジ前の砂浜では様々なビーチレクリエーションが活発に行われており、サーファー等の利用がある一方、遊具がある唯一の広場であることから、親子等の利用が多いゾーンです。

② 海風の広場周辺エリア（中部ゾーン）

公園中央に位置し、海風のテラスや芝生広場が配置され、広がりのある空間が特徴のゾーンです。

③ 新江ノ島水族館周辺エリア（東部ゾーン）

新江ノ島水族館等があり、観光地江の島への動線周辺にもあたるため、多くの観光客が訪れるとともに、海水浴シーズンは多くの海水浴客でにぎわうゾーンです。

1-2 公園の特性

(1) 公園の成り立ち

湘南海岸公園は、海浜緑地の保存等を目的として、1932（昭和 12）年に都市計画決定されました。

戦後復興が進む中で、湘南海岸は京浜方面から日帰りで気楽に来ることができる保養地として人気が高まり、海水浴客が爆発的に増えたことから、海水浴場の分散化等の課題に対応する目的も兼ねて、1954（昭和 29）年から整備に着手し、1957（昭和 32）年に開園、1960（昭和 35）年に完成しました。整備の際には、現在の「民間活力の導入」に相当する、旧都市計画法による特許事業の手法を導入し、公園史上画期的な方式として全国から注目を集めました。

その後、1991（平成 3）年から 2002（平成 14）年まで再整備を行うとともに、PFI 手法を導入した新江ノ島水族館・体験学習館が 2004（平成 16）年がオープンし、ほぼ現在の公園の形になりました。また、2021（令和 3）年には、ユニバーサルデザインの推進として、インクルーシブ遊具を新たに設置しています。

(2) 公園の特性

湘南海岸公園は、海岸線沿いに東西約 2 km にわたって広がり、相模湾の水平線と、西に富士山、東に江の島を望むことができる景勝地で、年間利用者数が県立都市公園では最も多い、神奈川県を代表する都市公園です。

公園施設としては、開放的な芝生広場や、水の広場（噴水広場）、ちびっこ広場、多目的広場等があり、駐車場は園内に 4ヶ所（隣接する国道 134 号地下の片瀬海岸地下駐車場は公園区域外）あります。公園東部には、新江ノ島水族館や体験学習施設があり、江の島観光との回遊の拠点の一つとして、賑わいを創出する施設となっています。

また、公園に接する海岸には、一年を通してサーフィンの利用が盛んで、ビーチバレーコートも常設されています。夏は片瀬西浜・鵜沼海水浴場が開設され、海水浴客で大変賑わいます。公園管理事務所であるサーフビレッジは、ビーチレクリエーションやライフセービング活動の拠点として活用されています。



(3) 公園特性の全体把握表

「神奈川県立都市公園の整備・管理の基本方針」に示す特性項目により、湘南海岸公園の特性を整理します。

特性	特性項目	公園の状況
自然	①緑地	クロマツ林は、砂防林としての役割も果たし湘南海岸の白砂青松の一部分として地域景観を特徴づけている。一部には海浜植物の群落がある。
	②地形状況	西は引地川、東は境川、南は相模湾に囲まれた細長い地形の砂地。
防災	③防災	海水浴客などのための津波避難タワー（タワー上標高 7.5m、A=50㎡、100 人収容）があり、避難訓練を年に 2 回実施している。公園沿いの国道 134 号は第一次緊急輸送路。
歴史文化保有状況	④歴史	ニエアル記念碑有（中国国歌作曲者の碑）
	⑤文化	藤沢市とマイアミビーチ市は姉妹都市提携
交通状況	⑥交通アクセス	最寄り駅：小田急線「鵠沼海岸駅」から約 600m、「片瀬江ノ島駅」から約 300m、江ノ電「江ノ島駅」「湘南海岸公園駅」から約 1 km、湘南モノレール「湘南江の島駅」から約 1 km。 最寄り IC：新湘南バイパス「藤沢 IC」から約 6 km
	⑦駐車場容量	4 か所：普通車 1305 台、大型バス駐車場 ※参考：片瀬地下駐車場（公園隣接 道路施設）普通車 200 台
周辺状況	⑧ 2km 圏内（徒歩）	周囲の平坦部は市街地となっている。周辺には湘南地域有数の観光地である江の島があるほか、片瀬漁港、スケートパーク、片瀬西浜・鵠沼海水浴場、片瀬東浜海水浴場等がある。圏域人口は約 6.5 万人。
	⑨ 10km 圏内（乗り物）	平坦部はほぼ市街地で、低丘陵地はゴルフ場や霊園、教育施設が立地する。東約 7 km に鎌倉があり、江の島とセットの観光客が多い。圏域人口約 102 万人。
レクリエーション施設	⑩レクリエーション	海に見える開放的な広場、噴水広場、遊具広場、テニスコート等がある。海岸では、海水浴やサーフィン、ビーチバレーなどが楽しめる。
利用者	⑪利用者数	年間約 200 万人
	⑫利用者ニーズ	年間を通して、散歩やビーチレクリエーション、新江ノ島水族館の利用で来園する方が多く、夏季は海水浴客の利用が多い。
	⑬イベント	ビーチスポーツや健康づくりイベント、地域と連携した交流イベントが多く行われている。
開園時期	⑭開園時期	1957（昭和 32）年開園。1991（平成 3）年度から中部、西部、東部の順に再整備を進め、2002（平成 14）年に完成。
住民参加	⑮住民参加	ボランティア団体により、公園を含めた地域の花壇づくりや、クロマツの保護を行っていただいている。

(4) 公園の魅力

公園の概要と特性を踏まえ、本公園の魅力を抽出すると、以下のとおりです。

① 湘南海岸を代表する様々なレクリエーション拠点としての公園

本公園は、目の前には江の島、西には箱根連山や富士山などが望める眺望に優れた公園で、サーフビレッジ周辺エリアや海辺の広場周辺エリアでは日常的な利用がされている一方で、PFI 方式により整備、管理運営されている新江ノ島水族館周辺エリアは年間を通して沢山の観光客が訪れています。

また、公園隣接地では、夏には海水浴場が開かれるほか、サーフィンやライフセービング活動、ビーチスポーツのメッカとして県内外から多くの来園があり、本公園と一体的な利用がされています。

このように、散策、スポーツや観光等の拠点として、様々なレクリエーション需要に対応できる公園となっています。

② 相模湾を中心に海洋環境を総合的に学ぶことのできる公園

本公園では、2002（平成 14）年に「みどりを充実し、文化的で海洋型のレクリエーションが四季を通じて楽しめる環境と、現代のニーズに対応した海洋文化の創造」を目指し、再整備を行いました。

なかでも、新江ノ島水族館となぎさの体験学習館は、海洋環境の教育・啓発、生物の保全・育成、海洋生態系の調査・研究の場、及びレクリエーションの場として、PFI 事業を活用して整備したもので、相模湾、深海、太平洋等の海洋生物の展示や、海洋生物との触れ合いなどを通じ、総合的に楽しく海洋環境を学ぶ場となっています。

③ 県を代表する観光地にある公園

湘南海岸は、箱根や横浜と並んで、県外からも沢山の方が訪れる観光地で、観光資源として、公園内に新江ノ島水族館があるほか、周辺には海水浴やサーフィンで賑わう鵠沼海岸や、年間を通して沢山の方が訪れる江の島など多数の観光資源を有しており、それらと連携した観光ができることも魅力です。

1-3 重点的な課題

基本方針に示した、県立都市公園が抱える8つの課題（下表【参考】参照）の中で、湘南海岸公園において、今後10年間で特に配慮が必要な課題を次のとおり設定します。

課題1 効率的で効果的な公園整備と維持管理

湘南海岸公園は、海に面して立地しており、常に潮風を受ける過酷な環境にあります。そのため、施設の劣化が速く、また、再整備後20年以上が経過している中、老朽化する施設の改修や、塩害対策として塗装の塗替え等を計画的に実施し、適切に施設の長寿命化を図る必要があります。

また、強い南西風による飛砂が激しく、飛砂防止柵の設置・修繕や堆砂の除去などの飛砂対策が年間を通して必要となることから、少しでも効率よく対策が実施できるよう工夫が必要となっています。

課題6 高齢者、障がい者など誰もが楽しめる公園づくり

湘南海岸公園は、夏の海水浴シーズンの治安や利用者マナーの問題があり、利用者の安全、安心を確保するための工夫をしていく必要があります。また、海へ行くためのオートバイや車両が園路に進入することもあり、対策を検討する必要があります。

さらに、公園内のクロマツ等の樹木間の見通しを確保し、公園を誰もが安心して利用できる樹木管理が必要となっています。

課題7 周辺資源との機能連携や情報発信の工夫を通じての地域活性化への貢献

公園内はオープンスペースが少なく、クロマツ林は景観性に配慮しながら利用スペースとしての活用を検討していく必要があります。

また、公園周辺は海洋レジャーが盛んですが、冬期の利用は少ないことから、江の島や新江ノ島水族館といった人気が高い観光資源と連携し、園内を含め回遊できるような仕組みづくりなど、年間を通して多くの利用者が訪れるような工夫が必要となっています。

【参考】今後の県立都市公園の整備・管理に係る課題（「基本方針」より）

課題1	効率的で効果的な公園整備と維持管理
課題2	県立都市公園の整備・管理の新たな指標の確立
課題3	サービス水準の確保と更なる向上
課題4	持続可能な社会の実現への更なる取り組み
課題5	大規模な自然災害への具体的で実効性のある対応
課題6	高齢者、障がい者など誰もが楽しめる公園づくり
課題7	周辺資源との機能連携や情報発信の工夫を通じての地域活性化への貢献
課題8	県民、NPO、民間事業者など多様な主体との協働・連携の推進

第2章 公園のめざす姿と重点的な目標

2-1 公園のめざす姿

湘南海岸公園は、海浜利用者のスポーツ・レクリエーション活動の拠点となっているサーフビレッジや、公園利用者が安全で快適に利用できる「ちびっこ広場」や「水の広場」、多目的広場があり、遠方からも多くの利用者が訪れます。

また、水族館や体験学習館は、海を知り、海を体験する拠点として、また、余暇活動の場としても重要な役割を担っています。

さらに、公園内のクロマツ林は、砂防林として機能するとともに、隣接する砂浜と一体となって良好な景観を形成しており、都市公園の目的である県民の保健・休養に貢献しています。

一方、施設の劣化や海水浴シーズンの治安、利用者マナーの問題などの課題も顕在化しつつあります。

そこで、誰もが安全、安心に利用できる公園管理に取り組むとともに、市街地の貴重なオープンスペースとして、防災面での役割も果たしつつクロマツ林の適切な管理により湘南海岸の景観を保全し、多様な海洋レクリエーションの拠点や海洋文化発信の場として、公園の利用促進や地域の賑わい創出を図ることをめざしていきます。

【湘南海岸公園のめざす姿】

- 海、江の島をはじめ相模湾を囲む山並みと一体となって織りなす、本公園特有の「海岸」景観の保全を図る
- 日常における安全で快適な散策・休養の場や、海洋レクリエーションの場を提供し、公園の安全性や利便性の向上、利用促進、利用者の健康増進に寄与する
- 多様な海洋文化を発信する施設を中心に、地域の観光拠点として賑わいの創出を図る

2-2 今後10年間を見据えた重点的な目標

湘南海岸公園のめざす姿を実現するため、基本方針の施策体系（視点、施策の方向性、施策展開の具体例）から、次のとおり今後10年間を見据えた重点的な目標を設定します。

目標の達成にあたっては、公園の管理者である県、指定管理者だけではなく、地元市や県民の方々、民間企業など、多様な主体との協働により進めることとします。

【目 標】 中長期的な視点による効果的な既存ストックの再生・活用

本公園の施設管理にあたっては、不具合が発生した後に施設を更新する事後保全型から、こまめに点検や修繕を繰り返すことによって施設の長寿命化を図る予防保全型に転換し、施設の維持や更新にかかるトータルコストの低減を図り、年度ごとのかかる費用の平準化を図りながら、老朽化した施設の計画的な更新を行います。

また、機能向上や更なる維持管理経費の削減に着目した施設の再生にも取り組むとともに、法令・規則等の改正に対応した施設改修にも取り組みます。

【基本方針における施策体系】

- ・視点 V 効率的で効果的な公園整備とサービス
- ・施策の方向性 (9) 既存公園の再生
- ・施策展開の具体例 ①公園長寿命化計画の策定と更新
②公園再生の着実な推進

【目 標】 誰もが来園でき、安全で楽しく過ごせる公園

パトロールの強化や利用者への普及啓発、関係機関との連携等のソフト面を強化するとともに、管理カメラの設置等の充実により、治安の確保や利用者マナーの向上を図り、誰もが安心して利用できる公園づくりに努めます。

また、公園の基本的な施設はユニバーサルデザインによる整備を行っていますが、関係団体の意見も聞きつつ、インクルーシブの考え方も取り入れながら、より多く、様々な方が楽しく過ごせる公園を目指します。

【基本方針における施策体系】

- ・視点 III ユニバーサルデザインの推進
- ・施策の方向性 (4) 誰もが安全・安心に過ごせる公園づくり
- ・施策展開の具体例 ⑦安全で安心な公園のための施設の整備と管理
⑧ユニバーサルデザインの推進

【目 標】 地域連携による活動の交流拠点

公園内の各施設事業者や周辺施設等と連携して、四季を通じて公園が賑わうよう、サービス提供や情報発信、回遊性の向上を図るとともに、イベントの開催等を積極的に展開し、活動の交流拠点として、地域活性化に貢献していきます。

【基本方針における施策体系】

- ・視点 IV地域活性化への貢献
- ・施策の方向性 (6) 地域と一体となった魅力の向上
- ・施策展開の具体例 ⑫周辺施設や観光資源とのネットワーク

【目 標】 湘南海岸を代表する美しい景観の維持と向上

湘南海岸を特徴づける白砂青松の海の眺望を生かした景観を維持するため、クロマツ林の適正な管理と保全を行うとともに、クロマツ林のスペースの活用法を検討して機能の向上を図り、公園にふさわしい利用を促します。

また、常緑樹を適切に管理し、景観の向上を図ります。

【基本方針における施策体系】

- ・視点 IV地域活性化への貢献
- ・施策の方向性 (6) 地域と一体となった魅力の向上
- ・施策展開の具体例 ⑭風景美術館をめざした景観づくり

第3章 取組方針

今後 10 年間を見据えた重点的な目標を実現するため、管理運営及び整備に関する方針等について、次のとおり定めます。

3—1 管理運営方針

(ア) 基本方針

海浜利用者抜きには考えられない立地条件にあつて、公園が提供できる芝生地、緑陰といった休憩機能は貴重であることから、湘南海岸のバックヤードとして憩える空間の快適な利用の提供に努めます。

(イ) 自然環境保全方針

マツ林と希少な海浜植物を保全、育成します。

(ウ) 運営方針

- 海のレクリエーション活動拠点としての機能を提供することとし、ビーチレクリエーションやライフセービングの活動拠点としての管理運営を行います。
- サーフビレッジは、利用者へのサービス提供や情報発信拠点、環境教育運営拠点、交流拠点として運営します。
- 公園内の施設（藤沢市観光センターや新江ノ島水族館等）と連携し、公園の持つ魅力を高めるような管理運営を行います。
- 公園をフィールドとして活動する多様な人材と、ネットワークの形成に努めるとともに、様々な団体グループとの連携によって公園利用の促進に努めます。
- 多様な公園利用プログラムの提供とマナー向上を図り、障がい者、幼児から高齢者まで誰もが安全、安心して楽しめる管理運営を行います。
- ゴミの持ち帰り・省エネルギー・クリーンエネルギー利用を推進し、循環型社会への普及啓発に努めるとともに、園内の植物管理に伴って発生する木や枝等を園内リサイクルする等のゼロエミッションに努めます。
- 公園周辺施設（鵠沼海浜公園等）との連携、地元の人々との連携、情報の連携などを深め、公園周辺地域での世代を超えた交流などコミュニティの活性化と地域全体の魅力向上を目指します。
- 広報や情報発信等の工夫を行い、利用者と双方向のコミュニケーションを図りながら、利用促進に必要な取組を管理運営に反映します。

(エ) 維持管理方針

- 公園施設や設備については、その機能や特性を十分に理解した上で、清潔かつ正常な状態とし、利用者が安全で快適に利用できるよう適正な維持管理を行います。
- 利用者ニーズや社会情勢の変化を踏まえ、費用対効果を考慮しながら公園再生に取り組む維持管理を行います。
- 芝生地や緑陰の保全、育成に努めることとし、芝生地の裸地化を避け、良好な育成

を図るため、必要に応じて立入禁止措置やエアレーション、土壌改良など芝生の管理を行います。

- 利用者や様々な団体との情報交換を図りながら、維持管理業務を行います。

3-2 安全・安心な公園への方針

地震・台風・大雨等への対応とともに、公園施設の老朽化に起因する事故の発生を未然に防止し、公園の利用者や周辺住民が安心して公園を利用できるよう、次のとおり対応します。

(1) 地震災害

公園内の津波避難タワーが海岸利用者の一時避難施設として機能するよう適切に管理します。また、藤沢市と連携して避難訓練を実施するとともに、大規模地震などの大規模災害発生時等には、県・地元自治体・指定管理者が連携・協力して災害対応に努めます。

(2) 気象災害（台風・大雨等）

台風や豪雨等の自然災害への脅威の高まりなどを踏まえ、応急対策等のマニュアルを作成し実践します。また、県、指定管理者及び防災機関との連絡体制を構築し、併せて、被害軽減のための対応を行います。

(3) 公園の安全管理

園路や休憩施設、遊具などの公園施設は、専門業者による点検や公園管理者による日常点検やパトロールを定期的に行い、不具合の早期発見、早期対応に努めます。

また、施設沿いは、除草や剪定をこまめに行い、周囲からの死角を解消し事件・事故の発生を未然に防止します。その他、新型コロナウイルス等の感染症への対応など、様々な危機への的確な対応に努めます。

3-3 エリア別の方針

管理運営や改修整備等を重点的・効率的に実施していくために、園内の各エリアの現況等も踏まえ機能・目的・自然環境等により類型化し、エリアごとの方針を定めます。

(1) サーフビレッジ周辺エリア

公園利用者と海浜利用者の双方が安全で快適に利用できるよう、ちびっこ広場や水の広場の遊具等施設、多目的広場の充実、水スポーツ・レクリエーション活動の拠点であるサーフビレッジの適切な維持管理を行います。

(2) 海風の広場周辺エリア

公園利用者が散策や景観鑑賞、休憩等を楽しめるよう、芝生広場や海風のテラスの安全で快適な利用に供するための施設の改修、維持管理を行います。

(3) 新江ノ島水族館周辺エリア

江の島や水族館を訪れる多くの観光客や公園利用者、海浜利用者がトイレや広場施設等を快適で安全に利用できるよう、適切な施設の改修、維持管理を行います。

3—4 整備の方針

公園の再整備・長寿命化などについては、本公園の役割等に照らし、長期的な視点に立つことを基本としますが、今後 10 年間を見据えた重点的な目標を踏まえ、10 年間の整備方針を設定し、整備を行うものとします。

整備にあたっては、財政面での制約が厳しくなる中、民間事業者の資金・人的資源・ノウハウといった活力を、県立都市公園の整備に活かす必要があることから、様々な公民連携の活用を検討します。

(1) 整備方針

湘南の砂浜海岸と交通の大動脈である国道 134 号とに挟まれた細長い形状をしているため、海水浴客やサーファーなどの海浜利用や観光客等の誰もが休憩や散策等で本公園を利用できるよう、また、ライフセービング・ビーチレクリエーション活動の拠点機能を適切に維持できるよう、次を整備方針とします。

○公園施設を安全に利用できるよう、計画的に改修や更新を行います。

○誰もが利用しやすい公園とするため、ユニバーサルデザインの推進、トイレの改修等の計画的な改修を行います。

(2) おおむね 10 年以内に対応する主な施設等

次の施設等については、速やかに着手することが望ましいため、重点的な取組を行います。

名 称	所在エリア	事業目的
サーフビレッジの改修	サーフビレッジ周辺エリア	老朽化施設の更新等
遊具・四阿の改修・更新	サーフビレッジ周辺エリア	ユニバーサルデザインの推進
噴水広場の改修	サーフビレッジ周辺エリア	老朽化施設の更新等
多目的広場の改修	サーフビレッジ周辺エリア	老朽化施設の更新等 公園の魅力向上
トイレの改修	全 域	老朽化施設の更新等 ユニバーサルデザインの推進
飛砂防止施設の更新	全 域	飛砂の防止・老朽化施設の更新等
公園出入口の改修	全 域	ユニバーサルデザインの推進
電気・機械・上下水道設備 の改修、更新	全 域	老朽化施設の更新等

※ 整備の優先順位は、施設の老朽化の程度、利用者からの要望、利用者への安全確保等の観点から、総合的に判断する。